

令和7年度第2回宮代町立図書館協議会議事録

日時：令和7年11月20日（木）16時00分～17時30分

場所：宮代町立図書館 研修室

●出席者 委員：山内薫・村山ふさ江・白木正勝・国川恵子・三角由美子・茂木代美・

荒井拓也・石崎徳幸（順不同、敬称略）

事務局：飯山生涯学習室長・川崎主幹、吉岡主事

指定管理者：清水図書館長、永堀一般チーフ、名倉児童チーフ

●次 第

1 開会

2 報告事項 令和7年度上半期事業報告（利用状況等）について資料1・資料2

3 その他

4 閉会

●会議概要（1省略）

（1）令和7年度利用統計について…清水館長から説明（別添資料参照）

《（1）に関する特記事項》

- ・入館者数については、児童、一般ともに微増。合わせて前年度比 104%となった。
- ・資料貸出及び予約状況について、紙芝居が対前年比 111%、雑誌が 101%と微増。
- ・資料団体貸出の対前年比は紙芝居が 114.4%と微増となっている。
- ・行事参加者数について、おおむね対前年比 100%を超えたものの、「おはなし会」の対前年比が 89%と微減となった。
- ・相互貸借について、7月に県外から借受1件、貸出1件があった。
- ・広域利用、広域貸出数ともに、宮代町のシェア約 70%、広域計約 30%となり、昨年の同時期と同じように推移している。
- ・広域利用における WEB 貸し出す延長利用状況はシェア宮代町が 66.7%、広域地域合計で 33.3%と昨年度と同じくらいの数字となっている。
- ・時間帯の利用者は 10 時～11 時、14 時～16 時に利用される方が多い。

《（1）に関する主な質疑応答》

委員 電子書籍利用者の年齢層を伺いたい。

図書館 年齢層については集計できないが、忙しくなかなか来館出来ない子育て世代や、端末で見ると拡大しながら読めるという点で、高齢者も主な利用対象と想定している。

委員 時間帯別利用者数について、19 時頃の利用者はいつも同じ人たちか。

図書館 同じ人かどうかはわからないが、仕事終わりなどでこの時間にしか来ることが出来ない人たちなど限られた方が多いかもしれない。

委員 閉館が 19 時なのに利用者がいるとはどういうことか。

- 図書館 中に入って本を読まれる方ではなく、閉館間際などに返却に来られる方が主に人数に含まれている。
- 委員 可能であれば 18 時に閉館してもよいのではないか。
- 委員 資料を見ると 18 時から 19 時の利用者は多い。これらから 18 時で閉館するのは難しいのではないか。
- 図書館 利用者アンケートなどではもう少し閉館時間を遅くしてほしいという意見もあるなど、18 時での閉館はなかなか難しいと考えられる。
- 委員 行事参加者数について、「すいようえほんの会」と「にちようえほんの会」の参加者数が増えているのは両親ともに参加する人が増えているからか。
- 図書館 4 か月検診の際のブックスタートの際にチラシを入れているので、効果が出ているのではないか。ただ、資料に載っていない下期の統計では参加者数が 0 人の月もあった。なかなか難しい部分ではある。
- 委員 埼玉県全体の図書館統計が出たが、障がい者向けサービスの資料数の欄について、録音資料が 1 タイトル 54 冊、点字資料が 31 タイトルとあったがこれは何か。
- 図書館 録音資料は広報みやしろを録音したもの、点字は寄贈してもらったもの。どちらもボランティアの方による寄贈。

(2) 重点課題（事業概要）令和 7 年度上半期について…清水館長から説明（別添資料参照）

《（2）に関する特記事項》

- ・①館外サービスの充実について、須賀小学校再整備に伴い、ブックポストの設置について検討中。地域住民の方が使用できる公共施設となることから、本棚の設置についても検討中となっている。
- ・③電子書籍の充実と利用促進について、通常は社協で行っている日工大生によるスマホ・パソコン相談会を実施した。アンケートなどでも非常に好評であった。
- ・④高齢者向けサービスの充実について、9 月に 4 回目となる認知症合同展の催しとしてよみうり回想サロンを行った。また、様々な障がいに対応したサービスの充実では予算により NEC のシステム更新が間に合えば布えほんやデイジー資料の貸出を開始する予定。
- ・⑤乳幼児を連れた保護者向けサービスの推進について、ナクソス特別回には 25 名の参加があり、特にお父様の参加が多かった。また、学童への団体貸し出しの実施では、令和 8 年 1 月よりかえでクラブ(須賀小)へ配本が始まる予定。こちらですべての学童で貸し出しが行われることとなった。
- ・⑥読書会の実施を検討について、図書館では令和 8 年 1 月に実施予定。また、現在日工大生とともに 2 月に読書会を行うか調整中。地域連携による講演会等の実施については東武動物公園の講演会にてホワイトタイガーの飼育係の仕事を紹介予定。
- ・⑦駐車場に関する課題について、EV 車の充電設備設置工事を行う予定。
- ・その他。雑誌広告が 1 社増え 15 社となった。

《（2）に関する主な質疑応答》

- 委員 日工大との読書会について、具体的に教えてほしい。
- 図書館 日工大との提案で、現在調整中の為、具体的には決まっていないことが多い。2月に行う予定。
- 日工大 LC センターと図書館のコラボレーションにより、全2回で行う予定。1回目はお互いに勧めたい本を持ち寄り、感想を述べ、参加者同士で交換。2回目は持ち帰った本を読みこれらの本についての感想を言い合う。
- 委員 本来図書館で行う予定の読書会はどのようなものか。
- 図書館 昨年のようにテーマ無しで進めるのではなく、テーマを決めた読書会を行う予定であったが、日工大生からの提案もあったので今回は共同で2月に行うことが出来たらと考えている。
- 委員 日工大のボランティアによる、スマホ・パソコン相談会はどのくらいの参加人数だったのか。すてっぷ宮代で行った際に訪れたが、参加者も多かった。今後もう行う予定か。
- 図書館 49名が参加した。今後もう行うことが出来たらと考えている。
- 委員 助かる場面が多いので定期的に行っていただきたい。
- 図書館 承知した。
- 委員 中学校・小学校での支援の際にパソコンの調子が悪く、仕事ができない。パソコンを直す予定はあるか。特に前原中学校。
- 委員 図書館と同じシステムで行っているのか。
- 図書館 中学校のパソコンはもともと図書館のパソコンである。Windows10 から 11 へ変わった際に、もともとのメモリが少ない中無理やりバージョンアップを行ったことが原因と考えられる。
- 委員 百間小学校はそこまでひどくはない。前原中学校のパソコンは特に動きが重い。
- 図書館 2月に入れ替えを検討しているため。そこで少し変わるかもしれない。
- 委員 2月まで待ちたいと思う。
- 図書館 承知した。
- 委員 スズメバチの巣を駆除とあるが大きさはどのくらいだったのか。業者に頼んだのか。
- 図書館 約 20 センチ。植栽を管理した時に駐車場に見つかった。
- 委員 今までにもあったのか。
- 図書館 今までにもあったが、特に今年は多かった。
- 委員 スタッフの研修について、P マーク研修とは何か。
- 図書館 個人情報を取り扱うため、それらの取り扱いを学ぶ研修。全スタッフが行う。それから、資料には児童サービス研修を県立図書館で行うとあるが、正しくはバリアフリー支援、調べる学習コンクールのためのサポート、選書についての研修を社内で行う。
- 委員 社内研修は TRC の文京区の本社へ行くのか。
- 図書館 本社で行う研修ではあるが、WEB で参加する。

- 委員 ゆる読デーの開催について。こういった内容か。利用する人はいたのか。
- 図書館 来館者数が年々減っているという指摘を受け、予算が限られる中何ができるか考え、利用者から音楽が流れる環境で読書をしたいという意見があった。そこから、ホールが空いていて、なおかつ空調代がかからない春と秋にホールを開放し音楽が流れる中で読書を楽しんでもらう企画として行った。しかし、春は数人利用者がいたが秋は特に利用者数は多くなく、もともとトライアンドエラーで始めた企画のため、来年は行いうかわからない。
- 委員 わざわざ(ロビーよりも)暗いホールに行って読む人はあまりいないのではないか。
- 委員 音楽の大きさはどのくらいか。
- 図書館 イメージはカフェくらいの大きさ。
- 委員 広報が足りなかったのではないか。
- 図書館 夏はすぐに暑くなってしまったので、期間が短かった。
- 委員 もう少し認知度が上がれば、人は増えるかもしれない。
- 委員 来館者数は電子書籍などが普及すると、自然に来館者が減ってしまうのは仕方がないことなのではないか。
- 委員 来館者や利用者を増やすために様々な行事を行っているが、電子書籍が増えたとしても、わざわざ紙の本を来館し借りに来る利用者が減ってしまうようでは図書館の未来が大きく違ってきてしまう。行く末のことを考えると難しい部分ではある。
- 委員 児童のコーナーに窓際にいつも特集コーナーが設置されているが、特集のバリエーションがさらに多くあったらよい。なかなか自分では手に取らない、環境や平和といったテーマがあったらよいのではないか。
- 委員 自分では手に取らないが、手に取ってほしい本がテーマとしてあったらよい。
- 委員 児童図書のスタッフが決めているのか。年間計画などで決まっているのか。
- 図書館 毎月ある話し合いの中で都度テーマを決めている。
- 委員 一般的な本ではなく、書架に並んでいてもなかなか手に取らない本や読んでほしい本がテーマとして並ぶとよい。
- 委員 ほかの市町村はビブリオバトルを行っているが、宮代町では聞いたことが無い。行っているのか。
- 委員 行っていた。
- 委員 ビブリオバトルは以前数回行ったが参加者を募るのが非常に大変でなくなってしまった。人口が少ないため参加者も少なく難しい。
- 委員 一般や大学生や高校生を対象にするのはどうか。
- 図書館 以前行った際は年齢制限を設けずに行い、一般の参加もあったが、その中で中学生の発表が良かったので中学生をメインに参加者を募った。しかし、中学校はなかなか参加者が集まらず何とか開催ができるまでの人数を集めるのにやっとになってしまった。
- 委員 年齢にこだわらないで行ったらよいのではないか。1回の参加人数の上限は、

4 人ぐらいで十分なのではないか。ビブリオバトルは様々な本に出会うことが出来、読書の幅が広がるきっかけとなると考える。説明を聞いている人たちの反応も面白かったので、大会を行うことを機に本を選ぶ幅が広がるきっかけとなればよい。

委員 日工大と一緒に行われる読書会などが、ビブリオバトルなどにつながっていけばよいのではないか。

委員 以前私も協議会の中でビブリオバトルを勧めたことがある。全国で多くの大会が行われていたため知名度はあると思ったが、ビブリオバトルという言葉聞き、「なぜ子供たちに本で戦わせるのか」「読書は私的なものであり、それを公表することでいじめにつながる」という意見があり、非常にショックだった。そこから宮代町でビブリオバトルを行うのは難しいのではないかと感じた。良さをわかっている人にとっては、なぜそこまで考えてしまうのかと思ってしまいが、そういった考えもあるのかと感じた。

委員 教員の意見からはどのように考えるか。

委員 個人的には本が好きなこともあり、開催には前向きだが、全体でみると教員の労働時間の関係や担当教員は誰が行うのかなどの問題が、開催縮小に関係する原因となったのではないかと考えられる。

委員 学校司書が常駐していれば（参加生徒が少ないといった問題を）解決できるのではないか。

委員 現代の中学生はなかなか図書室に来ない。どのように図書室に来てもらう生徒を増やしていくかが問題となる。

委員 学校には週に1回来ているのか。

委員 図書館スタッフが来ている。

委員 中学生が図書館を訪れない、本を読まないということについて、アンケートを取っても本を読んでいる生徒が少ない。どうしたらよいのかといつも考えている。その中で校長先生がディスプレイなどに目を向けて下さるなど声がけ下さりありがたいと思った。アンケートの結果にも表れているが、先生が読書に対して積極的だとクラス全体的に読書率が増える。よって先生方も読書に積極的になっていただきたい。

委員 （資料について）小中学校との連携のなかで、「読書統計資料活用により読書指導の支援」とはどのような支援を行っているのか。読書統計資料とは何か。

図書館 読書統計資料とは蔵書がどれくらいあるか、学校図書の利用統計など学校図書に関する資料。こういった資料を基に廃棄を促すなどをしている。

委員 学校が主体となっているものに対し、支援を図書館が行っているのか。

図書館 そうである。

委員 親が本を読んでいる姿を見せると子どもも本好きになるという話があるように、先生が読書に積極的であるということは児童生徒にとっても大切なことである。

委員 週に一回2時間しか読書のボランティアはできない。やはり学校司書が必要。

委員 ボランティアを週に三回に増やすだけでも良い。ぜひ検討して頂きたい。

図書館 検討したい。

3. その他

事務局より連絡事項

令和 8 年度から 5 年間、第四期の指定管理者が TRC に決定した。

次回の図書館協議会は 3 月上旬を予定しているので、後日日程調整を行う予定。

4. 閉会